

令和４年度
事業報告及び計算書類

令和４年４月　１日から

令和５年３月３１日まで

一般財団法人
長岡花火財団

—目 次—

1. 令和4年度事業報告	2
2. 令和4年度計算書類	1 3

令和4年度 事業報告

一般財団法人長岡花火財団

令和4年度 事業報告 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

1 ウイルス禍における長岡まつり大花火大会の企画・運営

(1) 2022長岡まつり大花火大会の開催結果

- ・2022年8月2日(火曜日)、3日(水曜日)
- ・観覧客数 8月2日 15万人 3日 13万人 計28万人
- ・大型花火台数 各日39台 計78台(2019大会と同数)

(2) 主な花火の内容

- ・16回目を迎えたフェニックス花火、天地人花火、花火「この空の花」、花火「故郷はひとつ」、米百俵花火尺玉100連発を長岡ゆかりの音楽で打上げ
- ・番外花火として、長岡煙火協会、米百俵フェス実行委員会、長岡花火財団の提供のサプライズ花火を人気バンドwacci(ワッチ)のボーカル橋口さん作曲の新曲「HOPE TO THE FUTURE」を両日打上げ

(3) 感染症対策の内容

- ・入退場時間の分散化や会場内での消毒液の設置・配布など、徹底した感染症対策を実施
- ・「5つのお願い」など、テレビスポットCM、公式HPやSNSを活用した積極的な広報

(4) 安全対策の内容

- ・コロナ禍での安全安心な花火大会を開催するため、会場内の観覧席を全席有料化
- ・会場外において、チケットを持たない人が会場に近づかないようにするための広報・案内誘導
- ・混雑エリアの対策(ウオロク前の道路を封鎖し開放せず。)
- ・民間警備員を2日間で約1,600人、市案内誘導員約900人の動員に加え、警察、消防、JR長岡駅等、総勢約4,750名が一丸となった体制でスムーズ、かつ適切な広報・誘導で安全対策を行い、大きな事故も無く大会を終了

(5) 交通対策の内容

- ・交通規制エリア内外での違法駐車が発生したことによる周辺住民からの苦情が寄せられ、今後の臨時駐車場の増設、住宅前や道路の違法駐車対策の必要性
- ・シャトルバス運行は、バス台数や運転手不足により、2019大会の4路線から3路線に変更し、本数をしっかりと確保することで安定的な運行
- ・2019大会から実施した、駐車場予約サービス「長岡花火駐車場シェアプロジェクト」を継続実施し、公式・民間提供含め2日間で約6,000台(2019大会は約4,700台)の登録により駐車場不足解消に一定の効果

(6) 広報対策の内容

- ・テレビの生中継による全国への発信
 - 2日：NHKBSプレミアム、NCT(Jcom連携)
 - 3日：BSN、NCT(Jcom連携)
- ※インターネット配信(YouTube・ニコニコ生放送)も実施

- ・チケットを持たない人が会場周辺に来ないようにする感染症対策としての効果
- ・民放各社のテレビスポット CM や公式 HP・SNS を活用して、感染症対策の呼びかけ
- ・新潟県警の公式 Twitter と連携し、マナー喚起や路上駐車取締強化のお知らせなどの周知

(7) チケット販売の内容

- ・全席有料観覧席化により、両日で 10 万席増となる約 32 万席分を販売
- ・ハガキとインターネットによる市民先行販売を初めて実施
その後の一般販売はインターネットのみで実施
- ・チケットの不正転売防止のため、「特定興行入場券」の要件を満たすチケットの作成や、リセールサービスの導入

花火打ち上げの様子(2022 フェニックス花火)



B会場 南エリア席開放前の様子(8/2 14:00)



消毒液配布の様子(8/3 18:10)



長岡駅前方面別動線の様子(8/2 22:20)



2 長岡の誇りを伝える活動

(1) 学校等への訪問活動

① 統一コンテンツの活用

- ・次世代を担う子どもたちに、長岡まつりの起源を伝えるとともに、長岡花火に込められた想いを通して長岡に誇りを持ってもらうため、長岡花火アニメーション（かこパッド）を活用した小中学校への長岡花火普及啓発活動
- ・令和4年度財団実績：7校 573人
- ・フェニックスボランティア部会：コロナ禍のため中止

② ボランティア活動を通じた人材育成の強化

- ・フェニックスボランティアを中心に、フェニックス花火の募金や長岡花火の普及・啓発活動などを通じて、ボランティア人材の育成
- ・フェニックス花火協賛金（令和2年度～令和4年度） 15,255,202 円

長岡花火普及啓発活動の様子



(2) 米百俵未来塾「長岡花火に込められた想いを学ぼう！～長岡の誇りを次世代に～」

- ・米百俵未来塾の第8回目の講座を担当し、長岡花火の歴史や長岡花火に込められた想いを学び、花火師から花火の仕組み・構造の説明を受けた後、花火玉レプリカので玉込め体験
- 令和4年11月12日(土) 13:30～16:00
参加塾生 24名（市内の小学4年生～中学3年生）

米百俵未来塾の様子



(3) 長岡花火ブランド発信拠点の活用

- ・アオーレ長岡シアター入口の「長岡花火情報室」での花火玉や打上筒の展示や、NPO法人ネットワークフェニックスと連携協力しながら、長岡花火の歴史等の普及啓発
- ・隣接のアオーレ長岡シアターでは、長岡花火映像コンテンツの上映（令和4年度アオーレシアター利用者数 10,641 人）
- ・「道の駅ながおか花火館」での、Tシャツやタオルなどオフィシャルグッズの販売や、2022 長岡まつり大花火大会の映像をまとめたドームシアターコンテンツの制作

3 長岡花火ブランドの発信

(1) 長岡花火打ち上げにかかる事業

《長岡花火財団主催事業》

① 長岡花火ウインターファンタジー（6回目）

- ・国営越後丘陵公園と連携し、長岡花火のブランド力向上と、冬期の観光資源の核として開催

日時 令和4年12月3日（土） 17:30～花火打上げ

会場 国営越後丘陵公園

来場者数 4,500人

内容 スターメイン1台 ミュージックスターメイン6台 計7台

- ・感染症対策の積極的な呼びかけや、臨時駐車場開放による入場口の複数箇所設置により待機列増加による密回避対策の実施や、感染防止を徹底したうえでの飲食専用エリアの設置



打上花火



飲食スペース

《花火打ち上げ事業へ参画》

① 長岡米百俵フェス～花火と食と音楽と～2022（4回目）

- ・全国から観客を集めて開催される音楽フェスとコラボしての長岡花火の打上げ

日時 令和4年10月7日（金）～9日（日）

7日は20:30～、8日・9日は19:30～花火打上げ

会場 東山ファミリーランド

来場者数 約20,000人

内容 7日：スターメイン3台（うち1台はミュージックスターメイン）

8日、9日：スターメイン5台（うち3台はミュージックスターメイン）計13台

② 長岡雪しか祭り（長岡花火・雪花火）

- ・長岡雪しか祭り実行委員会に参画し、2年ぶりに観客動員しての長岡花火「雪花火」の打上げ

日時 令和5年2月18日（土） 18:00～花火打上げ

会場 千秋が原ふるさとの森

内容 実行委員会花火1台 メッセージ花火4台 長岡花火財団1台 計6台

③ ホノルルフェスティバル

- ・姉妹都市ホノルル市で開催するホノルルフェスティバルのフィナーレで長岡花火を打上げ

日時 令和5年3月12日（日） 20:30～（現地時間） 花火打上げ

会場 アメリカ合衆国ハワイ州ホノルル市 ワイキキビーチ沖

内容 単発花火1台 スターメイン4台 計5台



長岡米百俵フェス〜花火と食と音楽と〜2022



長岡雪しかまつり



ホノルルフェスティバル

《長岡花火打ち上げの支援》

① 長岡花火ローズファンタジー（初）

- ・国営越後丘陵公園の主催により、年間を通じた長岡花火のプロモーションとして開催

日時 令和4年6月25日（土） 19:30～花火打上げ

会場 国営越後丘陵公園

来場者数 3,996人（主催者報告）

内容 スターマイン 11台

② アフィニス夏の音楽祭 2022 Nagaoka（初）

- ・音楽祭初日のコンサート終了後、音楽祭の開催を祝い長岡花火を打上げ

日時 令和4年8月21日（日） 19:15～花火打上げ

会場 長岡リリックホール側 左岸河川敷

内容 スターマイン 1台

③ 駐日外交団による地方視察ツアー向け花火（初）

- ・「駐日外交団地方視察ツアー」の立寄り地の一つとして、長岡花火をアピール

日時 令和4年11月5日（土） 16:50～花火打上げ

会場 山古志支所裏

内容 スターマイン 1台



長岡花火ローズファンタジー



アフィニス夏の音楽祭 2022 Nagaoaka



駐日外交団による地方視察ツアー向け花火

4 組織力の強化

(1) 保険加入（事故リスクへの対応）の検討

- ・ 役員賠償責任保険団体制度への加入（補償限度額：保険限度額 1 億円、法人訴訟及び身体障害・財物損壊等の特約を含む。）
- ・ 花火大会の中止・延期に備えるための興行中止保険加入にあたり、内容を精査し、補償限度額を引き上げるとともに保険料を 400 万円引下げる見直し（補償限度額：約 7.4 億円）

(2) 自主財源の確保、財政負担の軽減

- ・ 年間を通して長岡花火を応援する企業団体と「長岡花火オフィシャルパートナー協定」を締結し、互いに効果を共有できる関係を構築
令和 4 年度 1 社新規協定締結（令和 5 年 3 月末時点 締結企業 3 2 社）

Asahi



ON-YONE



セブン-イレブン

CHUETSU

おせんべい
おかきの通販販売
新潟 味のれん本舗

Harashin
原信

株式会社 丸大



渡辺ドライ

高速印刷株式会社

dip 株式会社 第一印刷所

Neo Standard Design Production
NEOS



株式会社 大原鉄工所

INPEX

TRUST
株式会社 イートラスト



80.7
FMながさ

DBJ 日本政策投資銀行



セブン銀行

御貢屋
越後長岡

(有) 山田縫製

IWANOHARA VINEYARD
岩の原葡萄園

GLOBAL
N-NETWORK'S
<http://www.n-networks.co.jp>

(株) SNE

NTT東日本

JTB
感動のそばに、いつも。

スリーピース
THREE PIECE

FULLER

NIPPON SEIKI

5 理事会の開催

第1回 令和4年4月6日(水)

- 議題
- ・長岡まつり大花火大会の通常開催を断念する基準について
 - ・花火大会通常開催断念時の観覧席チケット代金の返金割合について
- 報告
- ・2022長岡まつり大花火大会に係る主なスケジュールについて
 - ・「感染防止安全計画」の県の確認について

第2回 令和4年5月16日（月）

- 議題
- ・令和3年度事業報告・計算書類・附属明細書の承認について
 - ・理事の辞任に伴う補欠理事の選任候補者の決定について
 - ・令和4年度定時評議員会の招集について
 - ・事業推進体制の変更について

第3回 令和4年6月29日（水）

- 協議
- ・2022長岡まつり大花火大会における熱中症対策と感染症対策について
- 報告
- ・大花火大会までの主なスケジュールについて
 - ・有料観覧席チケット販売の状況について
 - ・大型花火について
 - ・番外花火について
 - ・長岡花火オフィシャルパートナーの新規締結について

第4回 令和4年10月28日（金）

- 報告
- ・2022長岡まつり大花火大会実施報告
 - ・他イベントにおける長岡花火の発信について
 - ・長岡花火ウィンターファンタジー2022について
- 議題
- ・令和4年度第1次補正予算について
- その他
- ・「長岡花火伝承会」の発足について

第5回 令和4年12月16日（金）

- 議題
- ・2023長岡まつり大花火大会の方針について
 - ・方針に基づく大花火大会の概要と取り組みについて
 - ① 全体スケジュール
 - ② 観覧席の設定案
 - ③ 通常開催出来なかった場合の長岡市からの支援について
 - ・理事の辞任に伴う補欠理事の選任候補者の決定について
 - ・令和4年度臨時評議員会の招集について
- 報告
- ・米百俵未来塾について
 - ・他イベントにおける長岡花火の発信及び長岡花火ウィンターファンタジー2022について
 - ・第38回長岡雪しか祭り及びホノルルフェスティバルにおける長岡花火打ち上げについて

第6回 令和5年1月13日（金）

- 議題
- ・副理事長の選定候補者の提案（書面議決）

第7回 令和5年3月6日（月）

- 議題 ・ 令和4年度第2次補正予算について
- ・ 令和5年度事業計画（案）、予算（案）について
- 協議 ・ 2023長岡まつり大花火大会における観覧席について
- 議題 ・ 理事の辞任に伴う補欠理事の選任候補者の決定について
- ・ 令和4年度臨時評議員会の招集について
- 報告 ・ 第38回長岡雪しか祭りにおける長岡花火打ち上げについて

第8回 令和5年3月25日（水）

- 議題 ・ 新たな理事の選任候補者の決定の提案（書面議決）
- ・ 臨時評議員会に係る議案の一部変更の提案（書面議決）

6 評議員会の開催

定時評議員会 令和4年6月1日（水）

- 報告 ・ 令和3年度事業報告について
- 議題 ・ 令和3年度計算書類承認について
- ・ 理事の選任について
- ・ 評議員の選任について

臨時評議員会 令和4年12月28日（水）

- 議題 ・ 理事の選任の提案（書面議決）
- ・ 評議員の選任の提案（書面議決）

臨時評議員会 令和5年3月28日（火）

- 議題 ・ 理事の選任について
- 報告 ・ 令和4年度補正予算について
- ・ 令和5年度事業計画・予算について
- ・ 2023長岡まつり大花火大会に係る主なスケジュールについて

事業報告の附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

令和 4 年度 計算書類

一般財団法人 長岡花火財団

貸借対照表

令和 5年 3月31日現在

一般財団法人長岡花火財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	149,081,498	19,816,342	129,265,156
未収金	168,617	1,378,207	△ 1,209,590
前払費用	405,900	385,000	20,900
流動資産合計	149,656,015	21,579,549	128,076,466
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
災害等対策基金特定資産	77,000,000	50,000,000	27,000,000
特定資産合計	77,000,000	50,000,000	27,000,000
固定資産合計	87,000,000	60,000,000	27,000,000
資産合計	236,656,015	81,579,549	155,076,466
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	10,076,440	8,909,953	1,166,487
預り金	0	3,750,000	△ 3,750,000
未払法人税等	20,341,300	70,000	20,271,300
未払消費税等	18,243,300	0	18,243,300
流動負債合計	48,661,040	12,729,953	35,931,087
負債合計	48,661,040	12,729,953	35,931,087
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	35,000,000	35,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(25,000,000)	(25,000,000)	(0)
2. 一般正味財産	152,994,975	33,849,596	119,145,379
(うち特定資産への充当額)	(52,000,000)	(25,000,000)	(27,000,000)
正味財産合計	187,994,975	68,849,596	119,145,379
負債及び正味財産合計	236,656,015	81,579,549	155,076,466

正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

一般財団法人長岡花火財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[19, 478]	[19, 478]	[0]
基本財産受取利息	19, 478	19, 478	0
事業収益	[837, 445, 686]	[15, 429, 640]	[822, 016, 046]
観覧席販売収益	787, 575, 775	0	787, 575, 775
駐車場協力金収益	13, 435, 785	0	13, 435, 785
各種販売収益	9, 921, 323	12, 107, 947	△ 2, 186, 624
各種賦課金収益	662, 803	77, 693	585, 110
業務委託料収益	25, 850, 000	3, 244, 000	22, 606, 000
受取補助金等	[167, 848, 552]	[114, 515, 514]	[53, 333, 038]
受取長岡市派遣職員人件費補助金	52, 701, 777	53, 549, 570	△ 847, 793
その他補助金	115, 146, 775	60, 965, 944	54, 180, 831
受取寄付金	[14, 390, 230]	[3, 953, 811]	[10, 436, 419]
受取寄付金	14, 390, 230	3, 953, 811	10, 436, 419
受取協賛金	[274, 057, 119]	[24, 300, 000]	[249, 757, 119]
受取現金協賛金	56, 587, 117	0	56, 587, 117
受取広告協賛金	1, 700, 000	0	1, 700, 000
受取花火協賛金	192, 714, 800	0	192, 714, 800
受取フェニックス花火協賛金	15, 255, 202	0	15, 255, 202
受取その他協賛金	7, 800, 000	24, 300, 000	△ 16, 500, 000
雑収益	[541, 439]	[11, 725, 557]	[△ 11, 184, 118]
受取利息	3, 236	660	2, 576
雑収益	538, 203	11, 724, 897	△ 11, 186, 694
経常収益計	1, 294, 302, 504	169, 944, 000	1, 124, 358, 504
(2) 経常費用			
大会運営事業費	[937, 962, 030]	[47, 840, 323]	[890, 121, 707]
花火打上事業費	228, 216, 316	9, 170, 686	219, 045, 630
会場設営事業費	364, 422, 199	30, 702, 200	333, 719, 999
安全対策事業費	152, 353, 643	1, 710, 058	150, 643, 585
交通対策事業費	49, 268, 282	0	49, 268, 282
観覧席販売事業費	110, 164, 336	2, 429, 151	107, 735, 185
寄付懇請事業費	10, 403, 196	3, 828, 228	6, 574, 968
受入体制強化事業費	23, 134, 058	0	23, 134, 058
普及啓発事業費	[4, 263, 018]	[0]	[4, 263, 018]
伝承活動事業費	4, 263, 018	0	4, 263, 018
ブランド発信事業費	[100, 474, 740]	[57, 922, 362]	[42, 552, 378]
情報発信事業費	23, 596, 497	10, 872, 420	12, 724, 077
海外発信事業費	10, 509, 163	0	10, 509, 163
情報発信拠点事業費	8, 059, 700	2, 110, 000	5, 949, 700
長岡花火打上プロモーション事業費	58, 309, 380	44, 939, 942	13, 369, 438
その他プロモーション事業費	[7, 260, 232]	[2, 511, 831]	[4, 748, 401]

科 目	当年度	前年度	増 減
その他プロモーション事業費	7,260,232	2,511,831	4,748,401
管理費	[125,197,105]	[79,934,971]	[45,262,134]
人件費	66,987,202	65,974,535	1,012,667
施設費	11,892,630	10,141,609	1,751,021
その他管理費	46,317,273	3,818,827	42,498,446
経常費用計	1,175,157,125	188,209,487	986,947,638
評価損益等調整前当期経常増減額	119,145,379	△ 18,265,487	137,410,866
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	119,145,379	△ 18,265,487	137,410,866
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	119,145,379	△ 18,265,487	137,410,866
一般正味財産期首残高	33,849,596	52,115,083	△ 18,265,487
一般正味財産期末残高	152,994,975	33,849,596	119,145,379
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	35,000,000	35,000,000	0
指定正味財産期末残高	35,000,000	35,000,000	0
III 正味財産期末残高	187,994,975	68,849,596	119,145,379

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・総平均法による原価法によっている。ただし、償却原価法は重要性が乏しいため適用していない。

(2) 固定資産の減価償却の方法

ソフトウェア・・・・・・定額法によっている。

(3) リース取引の処理方法

リース会計基準適用初年度開始前（平成20年3月31日以前）の所有権移転外ファイナンス・リース取引並びにリース会計基準適用後（平成20年4月1日以後）の所有権移転外ファイナンス・リース取引の内、リース料総額が少額（3百万円以下）のリース取引及びリース期間1年以内のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

なお、未経過リース料総額は、1,897,140円である。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
災害等対策基金特定資産	50,000,000	27,000,000	0	77,000,000
小 計	50,000,000	27,000,000	0	77,000,000
合 計	60,000,000	27,000,000	0	87,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味財産 からの充当額）	（うち一般正味財産 からの充当額）	（うち負債に 対応する額）
基本財産				
投資有価証券	10,000,000	(10,000,000)	(0)	—
小 計	10,000,000	(10,000,000)	(0)	—
特定資産				
災害等対策基金特定資産	77,000,000	(25,000,000)	(52,000,000)	—
小 計	77,000,000	(25,000,000)	(52,000,000)	—
合 計	87,000,000	(35,000,000)	(52,000,000)	—

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	16,094,000	16,094,000	0
合 計	16,094,000	16,094,000	0

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
基本財産 投資有価証券			
新潟県平成29年度第3回公募公債（額面1千万円）	10,000,000	10,009,000	9,000
合 計	10,000,000	10,009,000	9,000

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
長岡市派遣職員 人件費補助金	長岡市	0	52,701,777	52,701,777	0	—
イベント感染 防止体制強化 事業補助金	長岡市	0	110,685,775	110,685,775	0	—
お土産物産館 補助金	新潟県	0	4,461,000	4,461,000	0	—
合 計		0	167,848,552	167,848,552	0	

計算書類の附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表に対する注記の 2. において記載している。
2. 引当金の明細
該当事項なし。

財産目録

令和5年 3月31日現在

一般財団法人長岡花火財団

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額		
(流動資産)	現金預金	小口現金 手元保管	運転資金として	149,081,498		
		普通預金		100,000		
		第四北越銀行長岡本店営業部	運転資金として	133,367,494		
		第四北越銀行長岡市役所支店		15,614,004		
	未収金	グッズ販売代金他	168,617			
	前払費用	倉庫賃借料	405,900			
流動資産合計				149,656,015		
(固定資産)	基本財産	投資有価証券	新潟県平成29年度第3回公募公債	10,000,000		
				10,000,000		
	特定資産	災害等対策基金特定資産	災害等対策の為の積立資産	77,000,000		
				普通預金		
		第四北越銀行長岡本店営業部		27,000,000		
		第四北越銀行長岡市役所支店		50,000,000		
		固定資産合計		87,000,000		
		資産合計		236,656,015		
(流動負債)	未払金	人件費補助金返金分他		10,076,440		
				未払法人税等	20,341,300	
				未払消費税等	18,243,300	
流動負債合計				48,661,040		
負債合計				48,661,040		
正味財産				187,994,975		



監 査 報 告 書

一般財団法人 長岡花火財団

理 事 長 高 見 真 二 殿

令和 5 年 5 月 11 日

一般財団法人 長岡花火財団

監 事

高見真二 

監 事

並木純子 

私たち監事は、当法人の令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度に係る事業報告、計算書類及びこれらの附属明細書の監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、それぞれ理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況及び事業について報告を聴取し、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査いたしました。

さらに、上記の方法と合わせて、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書について監査いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告及びその附属明細書について

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実の存在は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書について

計算書類及びその附属明細書は、当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上